

松山市立久米中学校

学校通信

生徒会キャッチフレーズ

「久米中 For You『4U』～友・優・勇・結～」

校訓
勤勉
親切

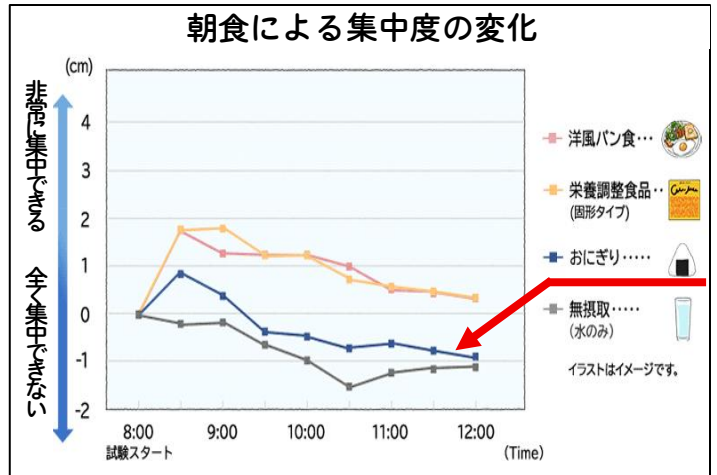
第16号

令和7年12月25日

12月15日(月) 学校保健委員会・PTA学級「朝食摂取啓発セミナー」

12月15日(月)午後、大塚製薬株式会社の中村様を講師にお迎えし、学校保健委員会・PTA学級「朝食摂取啓発セミナー」を開催しました。先週配布した「保健だより」では、学力や体力と朝食の関係について紹介しました。愛媛県全体では朝食の摂取率が全国ワーストとされていますが、久米中生の摂取率は全国平均より高く、各家庭でしっかり朝食をとっていることが分かります。今回のお話で印象的だったのは、「おにぎりだけでは、食べていない時とほぼ同じ」という内容です。朝食に何を食べるかが重要であり、おにぎりだけでは「知的作業への集中度」や「暗算作業の効率」がほとんど変わらないとのことでした(資料参照)。

朝の忙しい時間ですが、朝食の効果を高めるためには、栄養素をバランスよく摂取することが必要です。朝食は単なる“食事”ではなく、日々の学習や集中力を支える重要な要素であることが、公的調査でも裏付けられています。「学力・体力向上のカギは、朝食にあり!」です。ぜひ参考にしてみてください。



大塚製薬「食事の内容が脳と体のパフォーマンスに影響」

<https://www.otsuka.co.jp/health-and-illness/balance/performance/>より

12月19日(金) 令和7年度 まつやま小中学生文化等体験学習



12月19日(金)、2年生は、「まつやま小中学生文化等体験学習事業」で、坊ちゃん劇場の観劇、子規記念博物館の見学、そして道後散策を行いました。今回観劇した『新鶴姫伝説』は、坊ちゃん劇場の人気演目で、2009年・2014年に続き再演された名作です。感動的な場面が多く、先生たちも涙したようです。午後からは、子規記念博物館や道後の街を散策し、身近な地域にある魅力を存分に楽しむことができました。



2年1組



2年2組



2年3組



2年4組



2年5組



2年6組



2年7組



2年8組

坊ちゃん劇場「新 鶴姫伝説～鎧に白い花を～」観劇を終えて

役者さん達による迫力のある演技、綺麗な歌声、踊りに魅了されました。また、真の平和とは何か、を考えさせられる感動的な物語でした。舞台を通して、大三島に伝わる鶴姫の歴史を親しみやすく学ぶ事ができ、良い体験ができたと思っています。そして、ミュージカルへの興味を持つきっかけとなりました。(1組 豊永 侑輝)

文化体験学習を通して「争いの悲惨さ、平和の尊さ」を学びました。新鶴姫伝説は家族を失っても罪のない人が血を流さないように平和な解決策を見だし、憎しみに流されず戦を終わらせようとする主人公の姿に感銘を受けました。主人公の思いがこれからも受け継がれてほしいです。(3組 宮内 優光)

坊ちゃん劇場の新鶴姫伝説を見て、この作品は平和への願いと命の尊さについて考えさせられる作品でした。主人公の鶴姫が戦いだけども傷つかないように戦を終わらせることや、仲間がその思いにこたえようとした友情にとっても感動しました。また機会があれば見に行きたいと思います。(5組 岸 咲花)

僕は今回の観劇で、平和の尊さを改めて実感しました。特に心に残っている場面は、戦でたくさんの人たちの住居が燃え、命を落とし苦しんでいる場面です。僕はその場面を見た時、戦の悲惨さや残酷さを強く感じました。それと同時に、もう二度と絶対にこんな事が起きてはいけないと思いました。(7組 柴田 琥宇)

「子規記念博物館の見学・道後の街散策」を終えて



子規記念博物館では、正岡子規さんが短い生涯の中でいくつもの俳句を作ったことや趣味などを、動画を見たりクイズをしたりして学びました。道後では、からくり時計を見たり、ソフトクリームを食べたりしました。プライベートで道後に行くことはないのですが、貴重な体験をさせていただいて、とても嬉しかったです。(2組 山岡 なつき)

私は見学・ビデオ視聴を通して病を患いながらも最期まで文学を続けるような生涯の事を学び、何があっても続ける事を私も見習いたいです。道後散策では坊ちゃん団子やカステラ等の道後の食文化を学びました。道後のことを知れる良い機会を貰えてとても有難いなと思いました。(4組 上野 柚香)

子規記念博物館では、俳人正岡子規の生涯を知るとともに、当時の出来事や歴史について学ぶことができました。道後散策では、商店街の方々の道後の町に対する強い思いが伝わってきました。今回の文化体験学習では、地元松山の歴史や、道後の町の素晴らしさを知ることができました。(6組 本田 航生)

子規さんのことは正直知っていることも多いかなと思っていましたが、博物館のクイズには全然答えられず、学ぶことが沢山ありました。作品の数もすごい数字で驚きました。道後では、短い時間でしたが、友達と一緒に歴史ある道後の魅力を満喫することができました。(8組 浅井 野々香)

12月25日(木) 令和7年度 第2学期 終業式

終業式では、全校生徒を代表して、2年1組 長野 篤生さんが2学期を振り返り、学校行事や学習への取り組みについて発表しました。体育大会ではブロックリーダーとして声出しを頑張り、3年生の姿から全力で取り組む大切さを学んだこと、合唱コンクールではクラスの団結を感じ、本番のハーモニーに感動したことを語りました。また、水泳クラブで学習との両立を目指し、先輩の姿に刺激を受けて努力したこと、学級委員長として主体的な工夫が不足していた反省も述べました。最後に、3学期は「継続」を目標に、進路を意識しながら努力を続けたいと決意を示しました。

式辞では、校長先生から2学期を振り返るお話がありました。体育大会や合唱コンクール、文化発表会など、仲間と協力してつくり上げた感動や、1・2年生の大会での活躍、3年生の頼もしいリーダーシップが紹介されました。校長先生は、皆さんが「やりたいことだけでなく、やるべきこと」に真剣に取り組み、質の高い成果を生み出したことを讃えられました。また、冬休みについては、日本の伝統行事に触れ、一年を振り返る大切な時期であること、家族と過ごす時間を大切に、進路について語り合うこと、そして家庭の仕事を進んで手伝い、感謝の気持ちを行動で示すことを願っていると話されました。最後に、皆さんがよい年を迎えられるよう祈りを込めて、式辞を締めくくられました。



2025年、巳年は「知恵」と「探究」の年でした。毎日の学習に加え、体育大会や合唱コンクール、福祉体験学習、職場体験学習、文化体験学習など、さまざまな行事を通して、久米中生の努力が輝いた一年となりました。さらに、部活動でも各所で大活躍し、充実した学校生活を送ることができました。

来年は午年。午は「行動力」と「挑戦」を象徴する干支です。新しい年も、久米中生全員で夢に向かって力強く駆け抜ける一年にしましょう。

今年一年、保護者の皆様にはご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。生徒の皆さんは、学習や行事を通して大きく成長しました。どうぞ良いお年をお迎えください。

